

検討の方向性と今後の開催予定等について



検討の方向性～論点～(たたき台)

- 国・自治体等公的主体からの観点と、交通事業者等サービス提供主体からの観点の双方について議論を行った後、それらを踏まえた支援制度その他制度のあり方について検討してはどうか。
- また、技術・サービス面の革新からの観点については、別途開催されている「都市と地方の新しいモビリティ・サービス懇談会」での議論を適宜反映する形で検討してはどうか。

(1) 検討の方向性

地域における交通ネットワークの維持・確保に向け、地方自治体・民間等地域の主体が、潜在力も含めた地域力の発揮により、持続可能で地域最適な利便性の高い交通ネットワークの維持・確保を実現することを可能とする政策のあり方等を幅広く検討する。

(2) 検討の観点

①国・自治体等公的主体からの観点

- 地域最適・効果的な交通ネットワークを実現する計画制度のあり方
 - ・広域交通圏の観点、都道府県・市町村協働検討体制の確立
 - ・計画の実効性確保のための事業制度のあり方
- 計画を実現する支援制度のあり方
- 地域(自治体、民間事業者)の創意工夫・取り組み・努力に柔軟に対応できる制度のあり方
 - ・都市・地方の活性化を促すネットワーク構築
 - ・事業者・自家用有償旅客運送・共助の役割分担と導入円滑化
- 地域の既存輸送資源の積極活用のための方策 等

(2) 検討の観点

②交通事業者等サービス提供主体からの観点

- 交通事業の経営連携・共同化、多目的化(例:貨客混載)等の柔軟化
- 新モビリティ(自動運転、MaaS、AIデマンド等)の効果的な事業活用・導入の具体化
- インバウンド需要への対応

等

③AI等技術革新からの観点

- AI活用、MaaS・自動運転の進展、空飛ぶ自動車等、新たなサービスの創出による交通イノベーションの可能性・想定

(※交通事業(経営)への効果予測、地域交通ネットワークへの効果予測等)

等

今後の開催予定及び検討スケジュール(案)

- 今後の検討は、下記の日程とスケジュールで検討を進める予定。

#	日時	検討テーマ
1	11月1日(木) 13:00-15:00	地域公共交通の現状と課題
2	11月16日(金) 13:00-15:00	自治体からヒアリング
3	11月22日(木) 10:00-12:00	交通事業者からヒアリング
4	12月7日(金) 16:00-18:00	国・自治体等公的主体について
5	1月(調整中)	交通事業者等サービス提供主体について
6	2月(調整中)	支援制度のあり方
7	3月(調整中)	支援制度のあり方その他制度あり方
8	4月(調整中)	中間取りまとめ案
9	6月(調整中)	中間取りまとめ